

# ふれあい

平成24年7月 第313号

大代地区コミュニティ推進協議会  
( 広 報 部 )

事務局：大代地区公民館（生涯学習課分室）

TEL022-368-1141（内線510）

## 掲 載 目 次

- ふるさとづくり研修会の開催・1
- 大代地区婦人防火クラブより・2
- 大代北区星を観る会の紹介・4
- 震災で知った絆・・・1
- 大代第一百寿会再発足・・・3
- 新たな変化への対応・・・5
- 大代防犯協会の総会を終えて・2
- 遺跡見学・昔遊びのお知らせ・3
- 仙塩浄化センターのお知らせ・5
- JXの見学・説明会のご案内・2
- 華道サークルの募集について・4
- 大代の歩み（四十八）・・・6

大代地区の世帯数（平成24年5月31日現在）：東区338、中区310、西区280、北区118、南区580、合計1,626

### ふるさとづくり研修会の開催について

大代南区町内会

会長 橋本 浩

南区町内会の今年度の事業計画で予定しておりました「ふるさとづくり研修会」を7月8日（日）に実施致します。今回も以前大好評だった鳴子・中山平温泉近くでのブルーベリー狩りを体験したり、自然豊かな山河を一望しながら、温泉にゆつたりと浸り、昼食を食べ、懇談する内容のものです。心身ともにリフレッシュして明日への活力を養う行事ですので、大いに楽しむことができます。いつも70人近くの方が参加しています。

詳しくは、文化部長 斉藤英記又は会長橋本にお尋ね下さい。

### 震災で知った絆

大代南区 星 繁子

時は巡り今年も又梅雨の便りが聞かれる季節になりました。昨年の3月11日、東日本は想定外の災害に見舞われ、我が家も1.9メートルの浸水で地震と津波のダブルパンチを受けました。その時は、高校生の孫娘と二人で家の中に居りましたが、あまりの激しい揺れで庭に逃げようとしたのですが、足を取られて転んでしまいどうしても起きられませんでした。屋根から瓦が流れるように落ちてくるのを見て「もう頑張りもここまで」と諦めかけたその時、孫が私に覆い被さり、「孫が危ない！」と思

ったら急に力が湧いてきました。二人で這って辛うじて庭の木の下に到達し、難を逃れましたが、地震は治まらず、縁側のガラス戸は空中に飛び、家の中はガラガラ音を立てて壊れていき、自然の破壊力にただ呆然としていました。周りが急に静かになり事務所にいた娘も来て、今夜の宿の心配を話している、と、大学生の孫が自転車で疾走して「早く逃げろ！」と言ってきたのです。ただならぬ形相なので言われるままに、庭に止めてあった車に毛布1枚被って乗せられました。しかし、発進しようとしたが車が動かないのです。地割れしてタイヤが土に深くめり込んでいました。子供達は、試行錯誤している私を見て「落ち着いて、落ち着いて」と呪文を唱えていました。しかし、どうしても動かない。私は覚悟しましたが道ずれにはできない、逃げて貰おうと思つた瞬間、車が動いたのです。そして一気に高台にある娘の家に向かいました。道路は、人ひとり通つておらず町内では最後の避難者だったのかも知れません。その後息子が来て家が津波で浸水し、もう住めない事などの報告をしてくれました。そのとき私は御位牌が気になったのですが、夕方寒い中、息子が黙つて家に戻り、ずぶ濡れの姿で御位牌を持って来てくれました。

「もう何も言うことはない！」孫娘が私に、被さらなかったらあの力も出なかっただろうし、また大学生の孫が来なかったら今この世にはいなかったら。最後まで車にこだわり、私を乗せようと頑張つた子供達、感謝の涙で顔を上げられませんでした。その後、復興ボランティアの方が来て、辛い仕

事に当たってくれました。また自衛隊さんや全国からもご支援を頂き、「人間ていいなあ」と感じました。こうした体験を踏まえ、80歳を過ぎた身にも何ができるのかなどを考え、投稿させて頂きました。たくさんのお絆本当にありがとうございます。

“感謝、感謝の毎日です。”

## 大代防犯協会の総会を終えて

大代防犯協会

副会長 藤原 昭雄

5月20日(日) 大代東集会所において、午後6時から平成24年度の定期総会を開催致しました。

議題は、23年度の事業報告、収支報告及び24年度の事業計画、予算計画であり、それぞれ原案どおり承認を頂きました。また、今年度は役員改選の年度でもあり、長年に亘り大代地区の防犯活動に尽力されました会長の伊藤一郎氏を始め、多くの理事の方が退任となりました。それぞれ諸事情があつたようですが、慣れ親しんだ地元を離れ、他地区での生活を余儀なくされた方々が大半でした。そんな折、各区分長さん方には大変お骨折りを頂きましたが、新役員の推薦が思うようにいっておりません。昨今の諸事情は、ある程度理解できるものの今後の活動に支障をきたす恐れがあると言わざるを得ません。

今後は、米澤まさ子新会長の元で事業を行って参りますので、大代地区住民の安全、安心、そして青少年の健全育成のために役員を始め皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

なお、新役員(24年度〜25年度)は次のとおりです。

会長 米澤 まき子 (大代北)

副会長 藤原 昭雄 (大代東)

副会長 佐藤 聰子 (大代西)

会計 本郷 直子 (大代中)

監事 伊東 泰 (大代東)

監事 伊藤 善夫 (大代中)

顧問 大代5区分長

参与 大代駐在所長

また総会の後に、大代駐在所長 武田一貴氏から講話(震災後の地域防犯現況について)を頂きました。相変わらず振り込め詐欺事件が起きているとのこと。地域の皆様が同じような被害に遭わないために、一人で決めないで誰かに相談するか、本人かどうか確認することを是非実行して下さい。

それから、高校生のタバコ、夜中の徘徊(はいかい)が多いとのことですので、非行を防止するため各家庭、地域で気をつけて見ていきましょう。今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## JX日鉱日石エネルギー仙台製油所

### 現状復旧の見学・説明会のご案内

大代地区防災対策協議会

会長 米澤 まき子

昨年は、ひとつの季節をなくしました。今年は、愛しむかのように花々や樹木に目を奪われております。

さて、今年度の事業計画の第1弾として、現在災害復旧中のJX日鉱日石エネルギー仙台製油所の現状について見学、説明会を実施致します。

日時 7月11日(水) 午前10時出発

集合場所 大代地区公民館前

集合時間 9時45分

参加申込 締め切り日 7月7日(土)

なお、定員を40名様とさせて頂きま  
す。定員になり次第締め切らせて頂  
きますのでご了承下さい。

連絡先 事務局 361-1788

FAX 366-2760

## 大代地区婦人防火クラブより

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

去る6月8日、各区分長さんの協力のもと無事総会を終えることができました。また総会終了後、大代駐在所長武田一貴氏による震災時における避難場所、経路についての講話を頂き、有意義な総会となりました。お集まり頂きました皆様どうもありがとうございました。総会の席でお話がありましたJX日鉱日石エネルギー株式会社様への見学日程が決まりましたのでお知らせ致します。

日時 7月18日(水) 午前10時から

集合 大代地区公民館前 午前9時45分

申込 7月10日(火) まで申し込み下さい。

なお、先着30名様とさせて頂きます。

申込の連絡先は、各地区の代表者まで  
 大代南 平山 仁子 365-1421  
 大代東 鈴木 ゆう子 364-4881  
 大代中 本郷 直子 362-0739  
 大代北 小畑 かつ子 365-7824  
 大代西 後藤 重子 362-3106  
 皆様のご参加をお待ち致しております。

## 大代第一百寿会再発足

大代南区 渡邊 清

昨年3月11日の東日本大震災から1年3ヶ月が経ち、日一日と復旧復興が進んでいるように思われます。あの甚大な地震と津波で、大代第一百寿会の会員1名が犠牲となり、26人の方々が被災されました。ここに改めて犠牲になられた方のご冥福と被災された方々の一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

このように多くの会員が被災し、諸々の避難所や仮設住宅等に離散したことから、会としての活動ができなくなり、昨年4月に解散致しました。しかし、今年4月頃から皆さんにも多少心のゆとりができ、再度第一百寿会を立ち上げ、互いに励まし合い、絆を深めて行くのではないかと意見が出て、前会長荒木慶蔵様を始め、前役員の方々と会合を開き、諸準備に入りました。また大代南区長橋本浩様、大代東区長三浦徳男様のご尽力により事業活動費として助成金を頂くことになり、再発足することができました。

そして去る5月11日会員総数57人により総会を開き、今年度の事業計画と予算案、新しい役員の方々の承認を頂き、大代第一百寿会の再発足となりました。早速今年度の事業計画である社会奉仕活動大代四丁目石ヶ森公園内の除草と大代五丁目の横穴古墳花壇草取り、花植えを行いました。また今年度から行事に入りました月1回のお茶会には32人の参加があり、大代駐在所武田所長から最近地域で起きている『交通事故、犯罪、金銭詐欺について』の講話を頂きました。身近な事件、事故として皆さん真剣に話を聞いておりました。お陰様で自己防衛の意識を持たれたものと思います。これからもこのお茶会等を活用して会員相互の絆を深め、一人で孤独にならず、ストレス発散の場にしたいたいです。

大代南区、東区の方で第二百寿会に入会希望の方は、常時受け付けておりますのでご連絡下さい。会員一同、一緒に活動する仲間を待っています。



大代駐在所 武田所長さんの防犯講話

和気あいあいとした雰囲気の中で身近な出来事や話題が飛び交い、賑やかな楽しいお茶会となりました。

## 遺跡見学・昔遊びのお知らせ

遺跡を愛する会 会長 西 幸雄

最近の子供達を見ると本当に野外で飛び回って遊ぶことが少なくなってきたように感じます。野外で遊ばないことが悪いこととは思いませんが、時には大気に触れあうことも大切と考えます。子供のころを思い起こしますと小高い丘に登って遠くの山並みを見るとき、あの山の向こうに何があるだろうか、など空想にふけた思い出が誰にでもあることだろうと思えますが、そのような場所がこの大代遺跡公園のなかにあります。悠然と構える蔵王連峰が見渡せます。そして眼下には太平洋の沿岸がすぐ足下まで続いていたことが想像できる場所です。夏休みのひととき子供さんと一緒に見学してみませんか。綺麗な歴史的な公園を大代地区の遺産として継承したいと考えます。子供さんは成長したところが古里だと思えます。

昔、懐かしい歌に 小鮒釣りし かの川く・の一節が思い起こされます。2年前まで学校で野外活動の一つだろうと思えますが、この貞山運河で、はぜ釣りをしていました。昨年からできなくなりましたが、この体験は子供さんのよき思い出の場所として残って行くことだろうと思えます。

私達も思い出の場所として地域にあるすばらしい遺跡公園で遊びながら歴史的遺産を伝承しようと考え左記のとおり計画致しました。

実施内容 遺跡見学、昔遊び  
 実施日時 7月29日(日) 10時〜12時  
 場所 柏木遺跡公園

※ 参加は自由ですが、昔遊び用具の準備の都合もありますので子供会又は代表者を通じて申込み下さい。(申し込み用紙は、後日配布予定) 見学は自由ですので多くの方の参加をお待ちしております。

※ 昔懐かしいおやつも準備したいと考えております。申し込み事項についての問い合わせ先  
佐藤捷逸 366-4380

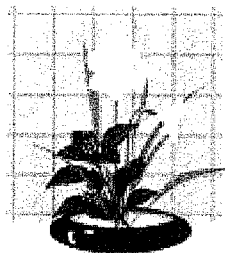


### 華道サークルの募集について

大代中 伊藤 善夫

平成24年度華道サークルの活動を開始します。お部屋にいけばなのある生活を始めてみませんか。初心者の方、お花の好きな方大歓迎です。

場所 大代地区公民館  
日時 第1、第3金曜日 10時〜12時  
申込締切 7月15日(日)まで  
問い合わせ 伊藤善夫 366-3412



### 大代北区星を観る会の活動紹介

大代北区星を観る会

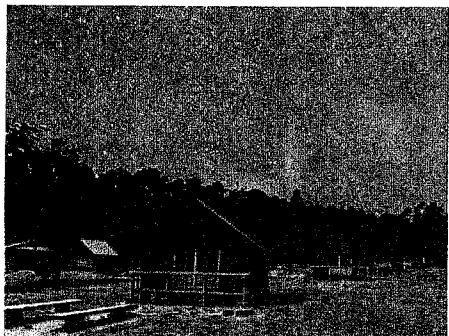
会長 加藤 渉

大代北区星を観る会、会の名称はPOLARS(ポラリス)北極星です。大代北区の北に因み、命名致しました。この北極星は、こぐま座の $\alpha$ (アルファ) 星座の中で明るく、あるいは大きい星)で、地球の地軸N極(北極)の真上にあつて、方位の北に位置し、殆ど定位置にありますGPSやコンパスがなかった時代に、船舶の航行に欠くことの出来ない道標でした。

私たちの会POLARSは、皆様に自然の営みや、仕組み、近く起こる自然現象等の情報や、企画のご案内などの情報を提供して参ります。自然に親しむことによつて、自然現象の理解や、利用、仕組み等を習得します。自然観察の基本は、まず自然に興味を持つことです。難しい知識は必要ありません。自分の家の近くにどんな植物があつて、どんな昆虫がいるのか。川があれば、その川にはどんな生物がいるのか。そんな興味から、自然観察を奨めています。昆虫や植物だけが自然ではありません。空気の冷たさ・温かさ雨や雪、霧霜などといった気象現象も自然です。夜空の星も自然の一部です。人間の手によつてつくり出された(人工物)以外のものは、すべて自然なのです。家の近所を歩き回りながら、どこにどんな自然があるのか、それがどう人と関わり、どう変わっていくのか、そんなことを考える忙しい人々には、入会をお勧めできない会です。

通常の活動は主に、天体現象観測、日食や、月食、水星や金星の太陽面通過、星食(月によつて恒星が隠れる現象)や流れ星の観測です。

年間9回の会としての観測は、夜間の観測で翌日が休日になる日の現象を選んで実施します。重要な部分の観測(休日以外に起こる、日中の現象、日食、金星の太陽面通過、夜半以降の現象)は暇人で観測し、結果を映像や画像で保存して事前研修などで紹介して行きます。年間2回遠征が有ります。8月12、13日に見えるペルセウス流星群観測と11月のしし座流星群は、蔵王や栗駒で宿泊施設(バンガローやコテージ)を利用し、キャンプの雰囲気堪能できる場所に行きます。



右の上図は、日中の宿泊施設七ヶ宿町南蔵王青少年旅行村のコテージと観測スペースです。  
下図は、満天の星の下の同じ場所の画像です。



# 新たな変化への対応

東豊中学校

教頭 佐々木 晃

衣替えの季節となり、大代地区方向から昇る眩しい朝日を背にして、白いシャツ姿の生徒が登校してきます。現在、多賀城市の中総体が終わり県大会出場権を得た部活動は、3年生を中心に一層練習に熱が入って活動しています。また、惜しくも県大会出場を逃した生徒の中には、市の陸上大会や水泳大会の選手として、新たな可能性にチャレンジしている生徒が多数見られます。

さて、今年度から、昨年度の小学校に続いて、新たな学習指導要領に基づいた教育活動が中学校においてスタートしました。新聞報道等で「武道必修化」に関わるものが多く取り上げられていますが、その他の教科でも、変更点や新たに追加される内容が数多くあります。

また、高校入試制度も現在の3年生から大きく変わります。具体的には、昭和53年度、農業に関する学科及び水産に関する学科で初めて導入された推薦入試制度がなくなり、「前期選抜」「後期選抜」「二次募集」という新たな制度に変わります。これらの変化に生徒がしっかり対応していけるようにするためには、まず私達教師集団がその変化の趣旨を理解し、変更点一つ一つを確実に指導に反映させていくことが必要となります。このことを肝に銘じ、変化の大きい今年度を生徒そして保護者・地域の方とともに歩んで参りたいと思います。

# 仙塩浄化センターからのお知らせ

宮城県中南部下水道事務所

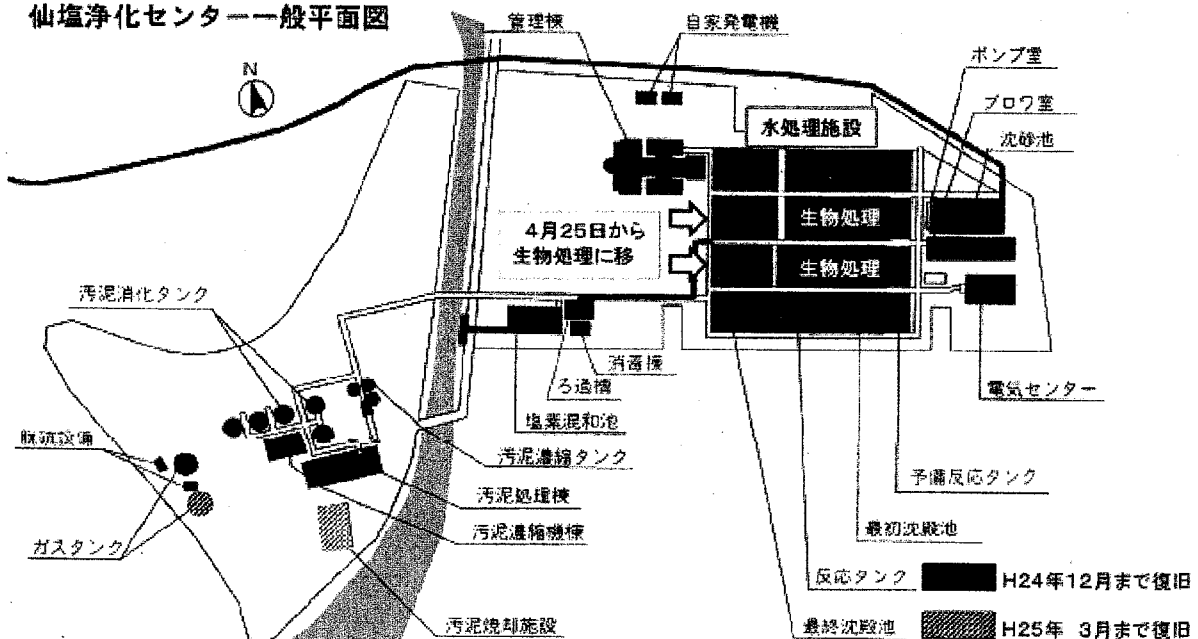
大代地区の皆様には日頃から、宮城県下水道事業の推進につきまして、ご理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災により甚大な被害を受けました「仙塩浄化センター」は、本年度内の完全復旧に向けて、鋭意、復旧工事を進めているところでございます。現在、復旧工事が本格化し、1日約150人の作業員が従事しておりますが、資材運搬等の工事車両も増加しており、大代地区の皆様方には、特にご迷惑をおかけしているところでございます。復旧工事は予定どおり進んでおり、4月中旬に汚水処理の一部を簡易曝気処理から震災前と同じ「活性汚泥による生物処理」に移行することができました。現在は、全体能力の50%まで復旧し、徐々にではありますが、放流水の水質も向上致しております。今後、計画的に復旧を進め、年内には全ての水処理施設が復旧する予定としています。

また、来年3月までには、汚泥焼却施設についても復旧工事を完了させて、仙塩浄化センターは全て震災前の状態になる予定です。8月下旬には、仙塩浄化センターの被災状況から現在までの復旧状況を見ていただけるよう施設見学会を計画しておりますので是非ご参加下さるようご案内致します。

なお、見学会につきましては改めてお知らせ致します。

仙塩浄化センター一般平面図



# 大代の歩み (四十八)

大代南区 渡邊 巖

多賀城の地域環境は、江戸時代から明治初期ころまでは八幡地区を中心にして仙台と塩竈を結ぶ街道沿いの村々で構成されていたが、仙台から塩竈間は一日足らずの行程なので、他地区の人々にとって多賀城は通過するのみで、他の街道筋の様な人の出入りも賑わいも無く、ずっと以前からの居住者が何代にも亘って営々と築いてきた農村であった・・・『平成』の現在でも当市には顕著な『中心街』が形成されず、市街化途上の様相を残している。

黒船の来航で太平の眠りを醒まされ、幕末期の混乱を乗り越えた日本は、列強諸国から締結を強要された不平等条約を改正する為に、欧米諸国に追い付き追い越せとばかり和魂洋才を旗印に、西洋文化の輸入に本腰を入れ始めた・・・

何よりも先ず国力(軍事力)の増大と諸産業の発達を目的とした輸送力の増強であった。

全国を覆う鉄道網の建設が開始され、遂に明治二〇(一八八七)年一二月に至り東北本線、上野と塩竈(港)間が全線開通し、我が多賀城村にも漸く文明の光が射し始めた。が、差し当たり東北から東京間の物資輸送を目的としたもので当村には文明の恩恵に与かる分部が少なく、却って県下の水運は等閑視されて、名だたる貞山運河も塩竈と大代間の小型船による微々たる利用を残すのみで歴史の舞台から消え去ることとなった。従って、東北本線の開通は、此の時点では我が大代は鉄道輸送による直接

の利益を受けることはなかった。

しかしその後政府の輸送力増強政策は推進され、明治二四(一八九一)年九月の東北本線全線開通と、二年前の東海道本線の全通と併せて本州縦貫鉄道は完成され、政府は国力増強に邁進し始めた。

続く

## お知らせ

● 8月2日(木) 震災復興支援イベント「とうほくこよみのよぶね多賀城」が貞山運河大代橋付近で開催されます。この行事は、3・11の東日本大震災で被災したとき、多賀城市にいち早く駆けつけて復旧活動に当たってくれた岐阜県からの協力依頼によるもので、幻想的な明かりの灯った舟を浮かべ、人の想いを運び、交流の「絆」を結ぼうとするものです。

協力する内容は、舟の数字行灯や灯籠などを岐阜県の方と一緒に作り、灯籠を灯したり、一緒に舟を浮かべることなどです。当日は、岐阜県の方々が多数来られる予定ですので、一緒になって盛り上げていきましょう。

予定される行事内容

一 オープニング(18時～19時)

・こよみのよぶね装飾、行灯づくり

・日比野克彦トークショー

二 こよみのよぶね(19時～20時)

・点灯式、こよみのよぶね進水

・行灯流し

三 関連行事

## 【解説】こよみのよぶね

冬至の日、巨大な行灯の船に暦の数字を乗せ、川の流れに「こよみ」を写す岐阜の冬の風物詩です。

2011年11月 石巻市で開催

2012年3月 釜石市で開催

日比野克彦氏

岐阜県生まれ 東京芸術大学大学院修了

アーティスト

2012年1月 NHKテレビドラマ

「とんび」出演

● 8月5日(日) コミュニティ推進協議会が主催して大代地区公民館の再開記念セレモニーを開催します。待望の公民館の再開であり、地域の皆さんと一緒に盛大に祝いしたいと思います。間近になりましたらチラシ等でご案内します。催しものは、楽器演奏や踊り、写真の展示等を予定しています。

● 大代地区夏祭りの予定

大代東区 7月28日(土) 石ヶ森公園

(予備日) 7月29日(日)

大代北区 8月4日(土) 大代公園

(予備日) 8月5日(日)

大代南区 8月4日(土)

大和マンション前公園

(予備日) 8月5日(日)